

**概 要****平成23年度第1回伊賀地域高等学校再編活性化推進拡大協議会**

平成23年8月29日（月）18:30～20:35 三重県伊賀庁舎

- 1 あいさつ(山口副教育長)
- 2 設置要綱(案)の確認・承認 委員自己紹介  
会長・副会長の選出(会長＝石田委員、副会長＝渡辺委員) 会長挨拶
- 3 報告事項  
(1) これまでの伊賀地域高等学校再編活性化についての協議  
資料説明：梅澤副室長 質疑：質問なし
- 4 協議事項  
(1) 伊賀地域におけるこれまでの高等学校再編活性化の検証について  
資料説明：梅澤副室長

(協議)

**中谷委員** 昨年度の協議会では、学校を統合して学級数を増やし活性化していこうという意見ばかりではなかった。名張分科会(H20,H21)での特色化・活性化の議論に基づいて取組んだ結果、名張の3校に進学する子どもたちが増えていると聞いている。名張地域の皆さんにも意見を聞く中で、普通科2校について統合するのではなく、活性化をはかり、選択肢を残すということを踏まえて協議してほしいと思う。

**会長** 「特色化」について、名張西高校、名張桔梗丘高校ではどうか。

**澤田委員** 特色化として考えたことを、名張西高では学校経営の改革方針の具体的な目標として、現在、地域の進学校を目指して取り組んでいる。

**稲林委員** 本校でも活性化の協議を受けての学校の改革方針に、継続して取り組んでいる。

**会長** 「選択肢が増える」という意味での2校の際だった違いはどこにあるのか。

**澤田委員** 特に英語科については国際交流に力を入れ、授業改善の取組を普通科でも生かしている。情報科についても、資格取得や進学希望の実現に取り組んでいる。

**味岡委員** 2校の活性化は結構なことだが、それが4、5年先に保てるのかを議論すべきである。名張市の高校は名張市だけでなく、伊賀市の子どもも通学している。伊賀地域全体の視点で、一定規模の学級数がないと活性化した高校になるのか、将来的な展望を話すのがこの場の議論である。誰でも地元の高校は残したいと思うが、子どもたちの現状を考えると伊賀白鳳高校に統合せざるを得ないという結論に立ってやってきた。

**会長** 伊賀は一つという議論で、普通科高校が3校あるが、特色という視点で考えて、選択の可能性のある3校になっているか議論が必要である。

**池原委員** 平成25、26年に1学級減とすると、推測であるが、できたばかりの伊賀白鳳を学級減できないと考えて名張地域で1学級減となる。平成27年度に154人減ると、名張3校を1学級ずつ減らして、さらに伊賀市からも学級減となる。近大高専がもっと生徒を勧誘することは十分あり得る。学校現場の中にはいろんな意見があってまとまらないが、名張の3校が4学級か3学級になれば、活性化する力はないと思う。

**中谷委員** 全体を考えたときに、伊賀白鳳や上野を学級減することもあると思う。今できた学校なのでそのまま残さなければならないということはない。近大高専についても、いつまでもつかかわからないし、そうすると選択肢がまた1つ減ることになる。

**味岡委員** 近大高専ができたことは、選択肢が増えたという意味で、伊賀全体にとってはいいことである。近大高専を志向する子どもが多くなると、県立学校の定数は減らざるを得ない。伊賀白鳳や上野については、再編した結果で今の定員があるので、4

学級の高校を2つ守るために、減らすべきではない。統合等によって7学級か8学級の学校ができて、さらに減るのであれば、上野や伊賀白鳳を減らすことはあり得る。

**上島委員** 中学校卒業生数が減る中で、それに見合う定数、学校を考えることは当然だが、高校の再編に直結するのではなく、伊賀全体の子どもの希望を見て広い視点で考えることが大切である。校数は、6校を4校にするのではなく、5校程度がいいのではないか。また、特別支援が必要な子どもたちも受け入れる公立高校の役割や交通が不便という地域事情から、8学級ではなく、もう少し小規模でもいいのではないか。近大高専は高校と異なるので、地域からの入学者数に当面は大きな変動はないと考える。

**会長** 普通高校3校について、何学級あたりが限界と考えているのか。

**上島委員** 伊賀全体で普通科を志望している子どもがどれだけいるのかを考えて、普通科を設置する割合も考えるべきである。伊賀鉄道やバスを利用する生徒の負担が大きいのも事実であり、他の地域ではもう少し思い切った再編があったとしても、この伊賀地域においては6校体制のところを5校にしてほしいと思っている。

**宮田委員** 資料に書かれている「高校で子どもたちが生き生きと学ぶためにはある程度のクラス数がほしい」、「子どもたちにきめ細かな対応をしてもらえる学校も必要である」などの意見はもったものである。平成27年度には大きな生徒数の減があるが、できればぎりぎりまで今の形を存続させていただければと思う。

**藤岡委員** 中学校でも盛んにキャリア教育の視点で学びをさせているが、将来の職業選択に結びついた進路選択は選択肢が多い方がいいと思う。その中で多少小さい学校があってもやむを得ない。また、本校では不登校の生徒や特別支援の必要な生徒がいるが、進学先の一つであるあけぼの学園は遠いので、名張の普通科3校のいずれかが担うべきではないかと思う。選択肢の幅を広げる中で、何校が必要なのかということになる。

**澤田委員** 部活動の面だけで見ると、高校はいろいろな部活動をやりたい生徒の希望を満たすためにある程度の規模は必要である。伊賀全体ということだが、やはり名張地区に進学を希望する生徒の学校は残してほしいという気持ちがある。そのために2校を1校にするのか、2校を残すのかということ、この場で議論することになると思う。

**稲林委員** 平成27年度は生徒はかなり減るが、次の年度にまた盛り返してくる。平成27年度を乗り切ることができれば、今の現状の学校体制でもいける余地があるのではないかと考えている。皆さんの意見をもっと聞かせていただいて考えて行きたい。

**松井委員** 自分の中では意見がまとまっていないが、やはり4学級では少なく、ギリ貧になっていくと思う。名張地区は近鉄で移動できるので、奈良県や大阪の私立高校に通学する生徒が増えていってしまうのではないかと懸念も感じている。

**杉生委員** 伊賀地域で特別支援学校の高等部で学ぶ子どもたちが増えており、その子どもたちを高校でゆっくりと育てるという方向もあるのではないか。それが子どもたちのためであるなら、それを再編の中の考えに入れていただければというのが希望である。

**土井委員** あけぼの学園高校には少人数の小さな学校でやる必要があるという生徒が志望してくる。職員もそういう共通理解の中で教育を行っている。そのニーズに見合った教育が名張高校や伊賀白鳳高校の規模の学校で担えるのかということ疑問だと思っている。「第二つばさ」的な学校としてもっと特色化していく必要があるのではないかと考えており、「逆スケールメリット」ということも考えていただければと思う。

**高田委員** 伊賀白鳳は今後の再編に無関係だという気持ちは全くない。再編した成果やくくり募集について、しっかりと検証して、魅力ある学校にしていくことが伊賀地域を活性化すると考えている。ただ、残念に思うのは、常に普通科が中心に考えられ、専門学科はいつも後回しにされていると感ずることである。平成27年度以降は6校を残すことはまず無理だと思う。子どもたちにとって何が最も望ましいのか、伊賀の活性化のためにどのような学校の存続が望ましいのかを基本的に考える必要がある。

**渡辺委員** 平成18年から23年の間に181人減って6学級減っているが、平成27年に今から230人減ったときに、何クラス減っていくのか現実的な数字も頭に入れながら話をしていく必要があると伊賀地域の校長会で話し合っている。

**林委員** 子どもたちの能力や環境に応じた幅広い選択肢を残すことが進路保障につながると考える。学級数が減ることでデメリットも多くあると思うが、名張の高校については、伊賀北部の子たちもたくさん来ているので、伊賀全体の子どもたちも選択肢を減らさないためにも、できる限り現状の学校数を減らさない方向で考えてほしい。

**木平委員** 学校は誰のためかと考えると、基本は子どもたちのためであると思っている。子どもたちには幅広い個性があり、そういったことを本当に見てあげる特長のある学校を作ってほしい。例えば名張西高校が英語のクラスがあるのであれば、英語はあくまでも道具であって、英語を使って将来どのような仕事をしたいのかというところまでのビジョンをはっきりとしてあげたら、もっと英語を習う子も集まってくると思う。

**山森委員** やはり子どものためを考えて進めていただきたい。活性化するために再編が必要であればいくらでもしていただきたいと思う。子どもたちにはなりたい職業がいろいろあり、そのニーズに合わせた細かなケアができる学校にしていただけるとありがたいと思う。そういうことをしっかり考えた再編であり、活性化を考えてほしい。

**三木委員** 子ども一人ひとりのニーズにできるだけ多様に応えていただけるような将来の高等学校を考えていただきたいと思う。

**事務局** 再編活性化の検証について意見をお伺いすることになっていたが、今後のあり方という部分に話が流れてしまったので、また次回以降に意見をお伺いしたい。今後の協議の予定として、3回（10月、12月、2月）協議を行い、今年度内に一定の方向性を出したいと考えているのでよろしくお願ひしたい。